

梶山歴史文化館ニュース

Vol. 21

2019. 7. 4

『裁縫雛形コレクション』 10年かけて、この春刊行

歴史文化館館長 梶山美恵子

A4判・全293ページからなる上記冊子を3月31日に刊行しました。512点のコレクションのカラー写真とその詳細な資料を載せたものです。本学園の原点であった裁縫教育の様子や服飾文化を知る上で価値のあるデータベースとなっているかと思います。

予算の都合上、学園関係の皆さん全員にこの冊子をお届けできないのが残念ですが、冊子の冒頭に記した拙文を以下に載せて紹介に代えさせていただきます。

(なお冊子をご希望の方は、当館に来館またはご連絡いただければ、お届けいたします)

本学園には、明治から昭和初期における裁縫教育において生徒が制作した、実物の正確なミニチュア制作物である「裁縫雛形」が多く遺されています。教育資料としてもまた民俗資料としても価値が高いとされているこの裁縫雛形（以下、雛形という）の整理を始めたのは、実はかなり以前のことでした。卒業生から寄贈されていた雛形が4個の衣装ケースに保管されていましたが、それに改めて目を向けたのは平成10（1998）年のこと。故梶山正弘氏（前学園長）と、当時学園の資料の管理にあたっていた故松井康太郎氏（元学園参与）、そして、かねてから雛形資料に関心があった杉藤重信氏（人間関係学部教授・歴史文化館専門委員）の3人が、事務局メンバーとともにそのケースの中身を改めて確認しました。翌年の平成11（1999）年には故梶山正弘氏・杉藤重信氏・故梶山藤子氏（元家政学部名誉教授）の3人が岐阜県に赴き、本学園卒業生の遺品である雛形のコレクションを拝見する機会を持ちました。その後故梶山藤子氏と中保淑子氏（生活科学部名誉教授・歴史文化館雛形研究員）らが、所蔵の雛形の整理に着手しましたが、それ以後、本格的に雛形研究が始まるまでにはさらに数年を経ることになります。

平成21（2009）年、梶山女学園に新たに「梶山女学園歴史文化館」が誕生しました。雛形の一部を館内に常設展示するとともに、翌年「雛形研究会」をスタートさせ、本格的な研究を開始することになりました。

研究員は中保淑子氏（前掲）・加藤雪枝氏（生活科学部名誉教授）・寺社下珠江氏（元非常勤講師）・米津昌子氏（元非常勤講師）の4名。毎月約2回のペースで研究会が持たれ、雛形の調査・研究および基礎資料の整理がなされました。

また雛形資料の写真撮影、デジタル化、ホームページへの掲載、そして本書のデータ作成については三木邦



弘氏（現代マネジメント学部准教授・歴史文化館専門委員）が担当し、また雛形の図のトレースについては阿部順子氏（生活科学部教授・歴史文化館専門委員）が担当しました。



上記のように長い経過の中で多くの人々が携わって、このたび当館所蔵の裁縫雛形コレクションを一冊の本としてまとめることができました。当館を開設してちょうど10年という節目の年に出版できたのは、館の開設から携わってきた者として喜ばしい限りです。

雛形をご寄贈いただいた卒業生の方々やそのご家族をはじめ、ご協力いただいたすべての方々に心より感謝申し上げます。このコレクションが椋山女学園の原点であった裁縫教育の歴史と実態、そして当時の学生たちの熱意やレベルの高さを後世に伝えるものとして、今後広く活用していただければ幸いです。

■ まだまだ続く「前畑秀子」関連情報 ■

●前畑秀子NHK朝ドラ誘致の結果

本学園出身で日本人女性初の金メダリストである前畑秀子さんの生涯をNHKの朝ドラとして誘致する運動が行われてきましたが、目標としていた2019年後半ドラマには残念ながら採用されませんでした。

この誘致運動は、前畑秀子さんの出身地である和歌山県橋本市が中心となり、名古屋市（椋山女学園の所在地）と岐阜市（前畑秀子さんが戦後から逝去するまで在住）の3市で行われてきました。約23万名の署名をNHKに提出されたとのこと。本学園では、同窓会を始めとした学園関係者及び中学校・高等学校の生徒さんに誘致の署名活動についてご協力をいただきました。この場をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。

なお、和歌山県橋本市では、今後も誘致運動を継続すると同時に、前畑秀子さんの顕彰運動を行っていくとのこと。



●NHK大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺～」に前畑秀子登場

現在放映中のNHKの大河ドラマの後編で、女優の上白石萌歌（かみしらいしもか）さんが前畑秀子役で登場しています。撮影にあたっては、NHKの担当者が何度も来館され、当時の椋山女学園の資料を歴史文化館から提供いたしました。NHKの朝ドラ誘致の運動が、この大河ドラマに結びついたのだと思っています。これとは別に、NHK和歌山放送局が大河ドラマの関連で前畑秀子さんのドキュメンタリー番組を制作するため、6月20日に担当者の方が撮影取材のために来館されました。

■ 体験型展示コーナーを設置しました ■

平成30年度学園研究費助成金（B）の研究課題「梶山歴史文化館における体験型展示の導入とその展示効果の検証」（研究代表者：文化情報学部准教授 見田隆鑑）の一環として、見学者が実際に体験して学ぶことのできる展示コーナーを設置しました。

●明治、大正～昭和前期の制服の試着コーナー

名古屋裁縫女学校時代の制服（明治）と梶山高等女学校時代（大正～昭和前期）の制服を見学者が服を着たまま試着することができます。

見学の折、最初は迷っていた学生さんが、友達の助けを借りて試着すると、それを見ていた周りの学生さんも次々と試着をして記念撮影で盛り上がっています。明治時代の袴姿の制服は、基礎的な和服の着付け知識を必要としますが、歴史文化館の職員に気軽に声をかけていただければ、着付けのお手伝いもしています。ご来館の際には、是非梶山女学園の歴史体験をお楽しみください。



●資料閲覧コーナー



古い卒業アルバムや糸菊、そして大正時代の女学生が読んだと思われる雑誌などを手に取って内容を見ることができます。

セピア色の写真に人の名前が右から表記されていたり、難しい漢字があったり、その時代の雰囲気を感じ取っていただけたらと思います。



■ 梶山歴史検定を受けてみませんか！ ■

梶山歴史検定は、見学に来ていただいた方に梶山の歴史を知っていただくツールとして、初級、中級、上級編を作成し、展示品のチェックポイントのマークをヒントとして答えを探すことにより、歴史が学べるようにしたものです。

当初は、歴史検定を希望する学生さんに取り組んでいただいていたが、中級、上級編については内容が難しいことから、初級編のみを使用していました。3年前に大学の授業（「人間論」）で梶山の歴史を学ぶ時間が設定され、初級編をベースにワークシートを作成し、授業の課題として使用しています。

今回、初級、中級、上級編の内容を見直し、歴史文化館を見学の上、冊子「梶山女学園のあゆみ」を参考資料として、梶山歴史検定に取り組んでいただくこととし、梶山歴史文化館のホームページ（資料室コーナー）に掲載しました。用紙をダウンロードし、初級、中級、上級編と順に挑戦していただきたいと思います。回答については、直接歴史文化館へご来館いただければ、お答えいたします。その際は、回答の内容にかかわらず、記念品をプレゼントいたします。是非挑戦してみてください。

梶山歴史文化館
【初級】

お名前

梶山歴史検定

梶山の歴史を知る問題にチャレンジしてみよう。
冊子「梶山女学園のあゆみ」を参考にしよう。
歴史文化館の見学をお勧めします。

1. 創設者について

1 梶山女学園の創設者の名前・梶山正武の読み方はどれでしょうか？
 ① まさし ② まさいち ③ まさかず
 2 生まれたのはいつ頃でしょうか？
 ① 江戸時代のおわり ② 明治時代のはじめ ③ 大正時代のはじめ
 3 創設者が、学園創設の前に東京に出て勉強したのは何歳でしょうか？
 ① 高校生 ② 法律 ③ 音楽

2. 学校の歴史について

1 学園の創立は何年ですか？
 【 】年
 2 初めて学校を設立した場所はどのあたりでしょうか？
 ① 山部 ② 高尾（旧富士塚町） ③ 風ヶ丘 ④ 日蓮
 3 最初に設立した学校の名称はどれでしょうか？
 ① 愛知女学校 ② 名古屋義経女学校 ③ 梶山義経女学校
 4 あなたが在籍している学校の設立は何年でしょうか？
 又は、一つだけ学校を選んで設立年を回答してください。
 ① 保育園【 】年 ② 幼稚園【 】年 ③ 特別養育院【 】年
 ④ 小学校【 】年 ⑤ 中学校【 】年 ⑥ 高等学校【 】年
 ⑦ 大学【 】年 ⑧ 大学院【 】年
 ⑨ 昭和17 ⑩ 昭和22 ⑪ 昭和23 ⑫ 昭和24 ⑬ 昭和27
 ⑭ 昭和52 ⑮ 平成27 ⑯ 平成31
 5 大学で設立された最初の学部はどれでしょうか？
 ① 人間関係学部 ② 教育学部 ③ 家政学部

3. 学園長について

1 学園章ができたのはいつごろでしょうか？
 ① 明治38 ② 大正10 ③ 昭和25
 2 デザインは誰が考案したのでしょうか？
 ① 生徒 ② 教師 ③ 創設者

1

【寄贈品紹介】



○裁縫雛形（ワンピースドレス）（加藤裕子氏寄贈）○文庫本（古書）「ピアノの話」（永和堂楽器店／金剛鐘発注楽器店）／はがき（年賀状／永和堂楽器店）（見田隆鑑氏寄贈）○扇子（昭和13、18年創立記念始め10点）／ペーパーホルダー（昭和11年前畑秀子金メダル記念）／絵はがき（昭和5年創立25周年記念）（岡田保氏寄贈）○基礎縫／家庭科ノート（昭和30年代中学校家庭科）（須田三恵子氏寄贈）○書籍（「画室の中から」（平成3年／小倉遊亀著／中央公論美術出版））／書籍（「続画室の中から」（平成元年／小倉遊亀著／中央公論美術出版））／書籍 アサヒグラフ「美術特集／小倉遊亀」（昭和54年／朝日新聞社）／書籍（昭和11年／国際写真情報／オリンピック特別号）／糸菊（大正2、4、5、7、9年号）／絵はがき（梶山女学園創立30周年記念始め8点）／地図（昭和12年／名古屋市土地宝典）（村瀬輝恭氏寄贈）

【編集後記】

【梶山の教員「著書展」】の企画展では多くの方に足をお運びいただきました。この度ご協力くださった先生方には御礼申し上げます。

また、歴史文化館では新しく試着コーナーもでき、学生の皆さんは写真も撮影しながら楽しく試着されています。多くの方に来館していただければ幸いです。

梶山歴史文化館ニュース 第21号

発行日 2019年（令和元年）7月4日

編集・発行 梶山女学園歴史文化館

名古屋市千種区星が丘元町17番3号

TEL 052（781）1186（代）

052（781）4590（直）

編集担当者 梶山美恵子 村瀬輝恭 村瀬示帆 阿部亮子